



# 家庭通信 5月号

2026年4月30日

学校法人 織田学園

おだ認定こども園

毎月の家庭通信・献立・保健だより等もHPでご確認いただけます

## 【新緑と、受け継がれるエネルギーの循環】

新緑がまぶしく、過ごしやすい季節になりました。子どもたちは毎日のように園庭や近隣の公園へと出かけ、小さな「探索活動」を楽しんでいます。その姿は、まるで小さな博士のようです。見つけたアリや石、木の実などをそっと大切に扱い、「どんな色かな?」「形はどうなっているのかな?」と、不思議そうに独り言を言ったり、お友だちと対話したりしながら、その世界を深く知ろうとしています。私たち大人は、子どもたちがその瞬間に感じているワクワクを何よりも大切にしたいと考えています。発見した宝物を保育室に並べて変化を観察したり、生き物を飼育したりしながら、一人ひとりの興味がさらに深まるよう、そっと見守り支えてまいります。

### 大切に使い続けてきた「本物」の家具

さて、私たちの園には、開園当時からずっと大切にしているものがあります。1歳児クラスの机や椅子、エントランスにある給食ケースや本箱は、すべて天然の木材で作られたオーダーメイドの家具です。使い始めてから15年。使い込むほどに風合いが増し、園の風景にすっかり馴染んでいるこれらの家具は、作者である渡辺晃男さんが丹精込めて作ってくださったものです。

実はこの度、渡辺さんが2025年度の重要無形文化財「木工芸」の保持者（人間国宝）に認定されました。先日までパルテノン多摩のギャラリーで開催されていた展示会では、当法人姉妹園の家具も作品の一つとして飾られ、法人のパネルも紹介されました。

### モノと心を通わせる「エネルギーの循環」

園では年に一度、保護者の皆さまと一緒に、これらの家具のメンテナンス（お手入れ）を行っています。長年、渡辺さんと交流を続ける中で、私たちは大切なことを教わりました。

【このメンテナンスを行うことは単にモノをきれいにするというだけでなく、モノにエネルギーを注ぐことで有り、その事によりモノが元気になり、モノからエネルギーが発散されて、それをまた我々が受けるというエネルギーの循環が生まれる】 渡辺さんより

この「エネルギーの循環」という言葉は、私たちの保育にも重なります。大人と子どもが関わり合い、お互いにエネルギーを送り合うことで、共に生かし合う温かな関係を築いていけたら……。渡辺さんの繊細な受賞作品を眺めながら、そんな願いを改めて強くいたしました。

新しい生活に慣れ、周囲の生き物や自然に目が向き始めるこの時期。子どもたちの感性がさらに豊かに育まれるよう、心を込めて支援してまいります。

## 5月のねらい

### <年長組>

- 様々な自然に関わり、遊びに取り入れたり、世話をしたりする中で、興味関心を深める
- 友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いや考えを言葉で伝え相手の話を聞くこととする
- 作りたいものややりたいことに向かって自分たちなりに取り組もうとする
- 身体を動かして遊ぶことを楽しみ、解放感を味わう

### <年中組>

- 園での生活の仕方や流れが分かり、自分でできることを進んで行おうとする
- 様々な遊びに触れ、やってみる中で、興味を持ち遊ぶことを楽しむ
- 保育者や友達と一緒に戸外でからだを動かして遊ぶことの心地よさを感じる
- 戸外で身近な春の自然に触れたり関わったりして遊ぶ

### <年少組>

- 保育者との触れ合いを通して安心して過ごす
- 好きな遊びを見つけて遊ぼうとする
- 戸外で遊ぶ心地よさを感じる
- 身近な春の自然に触れ、親しみを持つ

### <2歳児>

- 保育者と一緒に興味のある遊び、やってみたい遊びをする中で面白さを感じる
- 身近な生き物や草花に興味を持ち、見たり触れたりすることを楽しむ

### <1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています。